

ほけんだより



令和6年7月1日発行

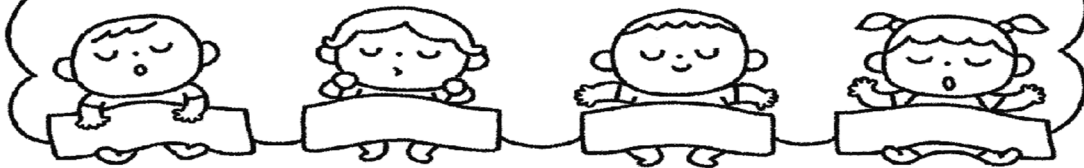
6月は夏風邪と呼ばれる感染症や体調を崩してしまう子が多くいました。保育園でも子ども達の体調管理に注意しながら安心して安全に過ごすことが出来るよう努めております。ご家庭におきましてもいつもと違う様子が見られましたらお休みをするか、登園時に職員まで様子をお伝えください。

当園では、さまざまな感染症流行を想定して今後も感染症対策を実施していきます。



夏の過ごし方

元気の源は、なんといっても睡眠です。子どもは寝る前に体温が上がり、布団をかぶせていると暑がり眠れなくなることもあります。寝つくまでは、お腹だけに布団を掛けるようにしてみると寝つきやすいでしょう。また、子どもたちは体の機能が未熟で、汗は大人の約三倍、尿は約1.5倍も出ているそうです。こまめな水分補給を心がけましょう。通常の水分補給は、常温の麦茶や水がおすすめです。



プール遊びに向けての健康チェック

- ・睡眠は十分でしたか
- ・すっきり目覚めましたか
- ・目やに、耳垂れは出ていませんか
- ・朝ご飯は食べましたか
- ・排便は済ませましたか
- ・入浴は済ませていますか
- ・爪は短く切っていますか

以下の時にはプールを控えます

- ・湿疹や傷、とびひ、アトピー性皮膚炎で出血、浸出液（汁）が出ている

- ・軟便や下痢、咳、微熱、元気がない、食欲がないと見受けられる時

以下の症状の時には受診をしてから登園をお願いします

- ・皮膚疾患（とびひ、湿疹、かきこわし、傷）
- ・眼疾患（目やに、目の赤み、目の腫れ）
- ・発熱（元気がない）

保育園でプールや沐浴をした日は感染症を防ぐためにも必ず入浴をして下さい。

5月に行われた歯科検診、内科健診をお休みされた方は、遅くとも7月中には受診して封筒でお渡しした用紙を担任まで提出して下さいようお願い致します。

6月の感染症

- ・胃腸炎・手足口病
- ・アデノウイルス・RSウイルス
- ・ヘルパンギーナ・溶連菌感染症